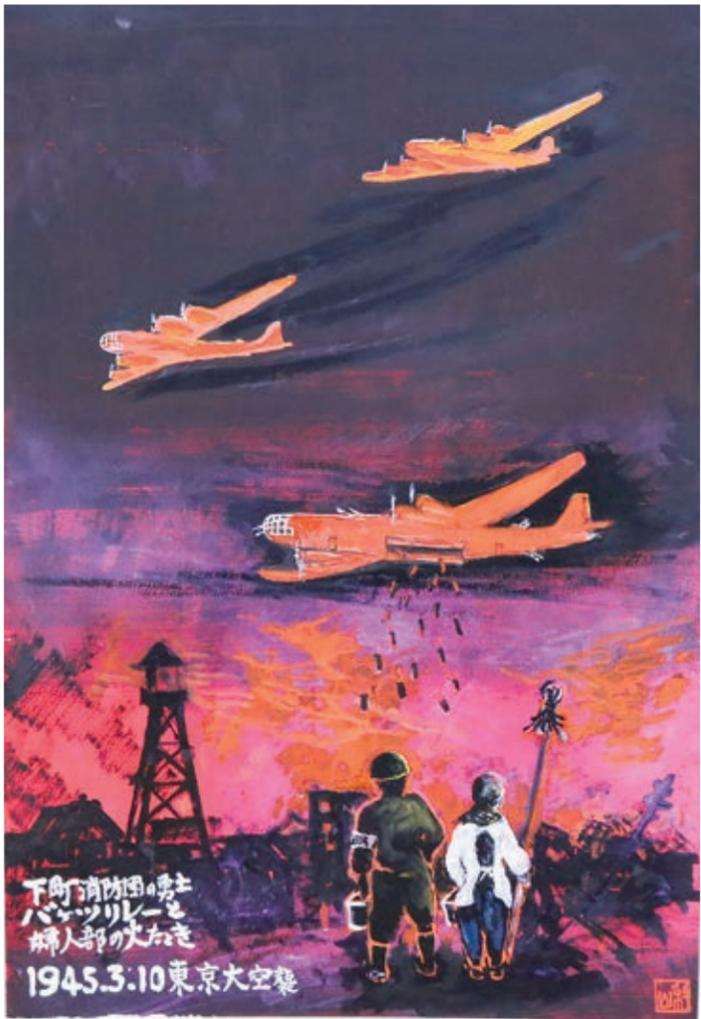


悲惨な過去から学び、平和な未来を築いていく

戦後75年
戦争の記憶を風化させない



昭和20(1945)年3月10日の東京大空襲では、約10万人の方が亡くなったといわれています。戦争は、悲しみや憎しみしか生まず、二度と繰り返してはなりません。第2次世界大戦終結から75年を迎える今、改めてその思いを強くし、恒久平和の決意を次世代へつなげていきます。

☎企画経営課☎内線2115



戦争を語り継ぐために

3月10日の東京大空襲の時、私は19歳でした。召集されて3月5日に柏の部隊に入隊し、そこで見た光景をもとに描いたのがこの作品(左)です。超低空飛行で東京の下町に焼夷(しょうい)弾を落とすB29は、まちを焼く火を反射して赤色の怪物のように見えました。美術学校へ進み絵の勉強をするのが夢でしたが、戦後ずっと絵を描いてきました。戦争の絵を描くのは勇気がいることです。赤くたかれた空気、火災の中を逃げ惑い死んでいった方たちを思うと、怒りと悲しみがよみがえってきます。戦争は怖い、戦争で犠牲になるのは結局は名もない人たちです。二度と起こしてはなりません。*長谷さんの戦争体験のお話は、「みたかデジタル平和資料館」で視聴することができます。

平和の大切さを伝えるために絵を描く
長谷緑也さんインタビュー



「オリンピックが平和の祭典であることをもっと意識してほしい」と長谷さん

長谷緑也(ながたに・ろくや)さん(94歳)
井の頭在住。昭和19(1944)年召集令状を受け千葉県柏市の部隊に入隊。旧満州(中国東北部)で終戦を迎えシベリアに4年間抑留される。帰国後は運送会社の経営などをしながら絵筆に力を入れる。作品約20点を三鷹市に寄贈。

東京空襲資料展 3月2日(月)～13日(金)午前8時30分～午後5時 (7日(土)・8日(日)を除く)

空襲の惨状を物語る品々や空襲後の様子を写したパネルなど約40点を展示。戦争関連の書籍や写真集を読める図書コーナーも併設します。☎市役所1階市民ホール ☎期間中会場へ

前期 2日～6日(金) 長谷さんの絵画を展示します。直接長谷さんのお話も聞けます(昼ごろ)。

後期 9日(月)～13日 空襲関連の写真パネルを展示します。

戦争体験、戦争関連資料の記録・保存事業にご協力ください

戦争を知る方も高齢となり、戦争体験を語り継ぐ点からも、市では戦争体験をお話いただける方や、戦争にまつわる資料(遺品、写真など)をお貸しいただける方を探しています。戦争の記憶を風化させることなく次世代に継承していくためにも、ご協力をお願いします。

資料は「みたかデジタル平和資料館」(右記)で紹介するほか、8月の平和展などで展示します。詳しくは同課☎内線2115へお問い合わせください。



戦争体験の声を聞かせてください

平成25年度から市民のみなさんのご協力のもと、これまでに36件の戦争体験談を映像で記録・保存してきました。戦争を体験した方々の生の声は、家族の絆や平和の尊さ、それらを奪う戦争の恐ろしさを私たちに教えてくれます。



市ホームページ特設サイト みたかデジタル平和資料館

HP <https://www.city.mitaka.lg.jp/heiba/>
戦争体験談の映像や戦争関連資料、市の平和事業などを紹介しています。



三鷹市内の戦跡を訪ねる フィールドワーク講座

戦時中、三鷹を含む武蔵野地域は「飛行機工場の町」と呼ばれていました。当時の様子を講演で学んだ後、大沢地区に今も残る「戦争遺跡」を歩いて巡ります。

☎3月15日(日)午後1時30分～4時30分
☎中学生以上の方25人 ☎調布飛行場内会議室集合
コース：調布飛行場→椎の実子供の家(高射砲台座と犠牲者慰霊碑)→大沢野川グラウンド(旧特攻隊宿舎跡)→武蔵野の森公園(掩体壕)、現地解散
講 法政大学中学高等学校教諭の牛田守彦さん
☎☎2月28日(金)(消印有効)までに必要事項(7面参照)を「〒181-8555企画経営課」・☎29-9279・電子申請サービスHP <https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/>(右記二次元コード)へ(申込多数の場合は市民を優先して抽選)



恒久平和を願い 黙とうを

東京都は東京大空襲のあった3月10日を「東京都平和の日」と定めています。戦災で亡くなった方々の追悼と世界の恒久平和を祈り、3月10日(火)午後2時から市の防災無線のチャイムを合図に1分間の黙とうを行います。みなさんのご協力をお願いします。